

国際ロータリー第2570地区

行田ロータリークラブ

RI会長：グレン E. エステス シニア / ガバナー：橋田 弥寿男

会長：黒淵陽夫 / 幹事：島崎政敏

例会日：木曜日

午後12時30分開会

クラブ会報委員会

会 場：アドバンテスト

委員長：中島捷二 / 副委員長：境野登章

行田クラブハウス

委 員：岡田則之、島田修、反町清
大谷浩一、山本栄治

2004～05 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーを祝おう」



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

第1889回

3クラブ合同例会

(8月26日)

橋田ガバナー公式訪問 3クラブ合同例会



卓 話 橋田弥寿男ガバナー

行田ロータリークラブは会員増強に大変頑張っておりまして、ロータリークラブに大変貢献しております。

さくらクラブは発足して30年。30歳と言う青年でありまして、行田ロータリークラブを親クラブとしております。

私は、国際ロータリー2570地区のガバナーとしてこの1年間務まるのかどうか不安な気持ちで、地区研修をやってまいりました。皆様のお手伝いが必要ならば、絶対にまっとうする事は出来ません。

そして私は皆様に若さを求めています。そしてOA化を目指しております。

ホームページの開設は、まだ30%。この情報化時代において積極的にOAを取り込んで緻密な情報交換をしていきたいと思っております。そして必要な資源

を共有し、皆様に認識して続ける事を目指しております。

いよいよロータリー100年と言うのが始まりました。RI会長はロータリーを祝おうと、言っております。会員増強を含めて100周年と言うのを利用してもらおうとも言っております。

日本のガバナーエレクトは34人おりまして、研修を受けます。項目は20ありまして、毎日2つずつ受ける事になります。私は追いつけ追い越せと言う事で、身の入った勉強が出来たと思っております。教育をするだけでなしに、その途中でRIの晩餐会とか途中で息抜きもあります。

聞きづらい点多々あったと思いますが、これで私の卓話とさせていただきます。

会長挨拶

行田さくらロータリークラブ 田中会長



私どものテーマは、仲間のためになるロータリーと言う事で掲げさせて頂きました。

もう少し本音の部分で仲間同士が話を出来ればな、と言う事で、そう言うテーマを掲げました。

今年度の重点目標は田中会員によるチャリティーコンサートを行い、ものづくり大学に1000万の目録をお渡ししたいと思っております。そして退会防止と出席奨励を、一生懸命努力しているところでございます。

今年度は「なのつ様」の経営者に入会して頂く事になりました。

.....

吹上ロータリークラブ 坪山会長



本日はお世話になります。どうぞ、宜しくお願い致します。

オリンピック、日本は頑張っております。

私はロータリークラブにお世話になりまして、18年になります。ロータリーとは、難しいなと言うのが本音でございます。

本日は、どうぞ宜しくお願い致します。

行田ロータリークラブ 黒淵会長



皆さん今日は！

橋田ガバナーようこそおいで頂きました。行田さくらロータリークラブ、吹上ロータリークラブの皆様とともに歓迎申し上げる次第であります。

先程からお話があります通り、今年は3クラブ合同の公式訪問という事で吹上さん、行田さくらさんの大勢の会員の参加を得てこのように盛大に開催する事が出来ました。担当いたします行田クラブを代表して御礼申し上げます。ありがとうございました。

例年、この時期に3クラブ合同例会を行っておりますが、本年は順番で行くと吹上さんの番でありましたが、公式訪問と言う事と、諸貴ガバナー補佐が皆様にお世話になって居ると言うことで、一回繰り上げて行田が主管させて頂きました。従いまして来年は、吹上さん、次が行田さくらさん、その次は吹上さんという順番になりますので宜しくお願いいたします。

年初でもありますので、少し当クラブについてお話させていただきます。

昨年度、行田ロータリークラブでは湯本直前会長の大変な御努力によりまして、会員の増強に伴う内部の活性化が図られました。本年度はその活力溢れる内部の活動を、外に向かったの運動にということを中心に事業展開を致しております。

まず、7月度の識字率向上月間にマッチした事業として、7月24日に「アジアの子供たちの絵日記展」を郷土博物館においてオープン致し、現在8月29日まで開催中であります。お帰りに行田市郷土博物館にお立ち寄り頂きご覧になって頂ければ幸いです。又、オープニングセレモニーの席上、昨年度も行いましたが、国際ロータリー100周年の記念事業として行田市へ児童図書の寄贈を行いました。

さらに7月28日には沢山の市民の方々と「行田ロータリー文庫」のオープニングセレモニーを行い新たな児童書の貸し出しがスタートいたしました。おかげさまで「行田ロータリー文庫」も約2千冊になり内容も充実したものになり、近隣図書館にはない内容のものとなっております。また本年は単に図書を寄贈するだけでなく、能動的なアクションとし

(次頁へつづく)

橋田弥寿男 ガバナーが

「アジアの子供達の絵日記展」と「行田ロータリー文庫」を
ご覧になって行かれました。

